経産省前テントひろばニュース

テント強制撤去から3203日原発再稼働糾弾！

第314号

編集・発行

テントひろば運営委員会

2025年8月サマー・キャンプin「請戸川河口テントひろば」へのお誘い
「ALPS 処理汚染水の海洋放出」問題を考える

「学び、遊び、つながる 請戸川河口テントひろば」は、今年の8月11日で創設2年になります。

この運動は、「福島第一原子力事故」で発生した「ALPS 処理汚染水」を東電・国が2023年8月24日から海洋放出を始めたことを契機として、それを「環境破壊の始まり」と受け止め、「脱原発・経産省前テントひろば」の有志が海藻、海底土、海水、そして魚介類を集め、その核種の調査と放射線量の測定を始めたものです。そして、この運動に協力して下さったのが、東大・駒場の小豆川勝見准教授です。

☆

メインの取り組みは、8月9日です。

現地で講演を聞き、意見交換を行った後で、「請戸川河口テントひろば」で、夏の暑い日差しを受けながら楽しい時を過ぎしましょう(講師は未定ですが)。

日時:9日(土)正午ころから、スタッフを中心に準備
:10日(日)正午ころから講演会とサマー・キャンプ
:11日(月)正午ころ解散式 (大まかな日程です)

最近、小豆川勝見さんがface bookに投稿された論文の要旨を以下に紹介します。

<https://www.facebook.com/share/p/1AnNcgvFGL/>

福島県大熊町の熊川河口域(帰還困難区域内)で2024年10月に採取したスズキの筋肉から216~225 Bq/kg-rawの放射性セシウムを検出した。このスズキの胃の内容物からは386 Bq/kg-rawの放射性セシウムを検出した。熊川流域の大半は帰還困難区域に指定され放射性物質による汚染が顕著である。一部のスズキは河口域も摂餌行動域に含む特徴があり、このスズキの特異的な放射能は帰還困難区域内の河口域で摂餌行動があったことが原因と推定される。このことが福島県沖で漁獲されたスズキに含まれる放射性セシウム濃度の分散を拡大させる一因となる可能性を指摘した。各漁港で水揚げされたスズキは現行のサンプリング法に加えて、生息・行動域を加味した新たなモニタリング手法の構築が重要になる。

福島県沖で漁獲されるスズキには、他県沖と比較して放射性セシウム濃度が高めに出る統計が出ているのですが、その原因の一つに、帰還困難地区を抱える河川の河口域で餌を食べることが原因になってはいませんか?その実例を見つけましたよ、という報告です。

このことは多くの研究者(に限らず多くの方にも)に予想されていたことでもありました。ただ、「河口域で汚染された餌を食べていた」ことが「基準値超過になるほどの身の汚染」の原因だったのかという因果関係を明らかにすることが大変だったのです。

いうまでもなく天然魚の行動は人間の管理下にありません。河口域で餌を食べた魚が沖合に出ていくものもあるでしょう。もちろん逆もまた然りです。となれば、確率は低いのですが、漁獲された魚の中に基準値を超過するケースは今後も継続して発生しかねない、ということもお伝えしています。

今回の研究では、たくさんの方からご協力をいただいて上記の因果関係を知らせてくれる貴重な魚を入手できました。できるだけ多くの方に知っていただきたいので、和文かつクリック一つで読める形式(下記のオープンアクセス)で調査報告論文を公開しています。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jec/35/0/35_34/_html/-char/ja

この調査報告(論文「帰還困難区域の河口域におけるスズキの摂餌行動が沿岸魚類の放射性セシウム濃度変動に与える影響」)をご一読いただければ幸いです。

できるだけ平易な言葉で書いたつもりです。

このように少しずつですが、海洋汚染の実態が判りつつあります。しかし東電・国は、「廃炉」まで「ALPS 処理汚染水」の海洋放出を続けると公言しています。

当初は、「請戸川河口テントひろば」の創設2周年記念行事として検討してきましたが力も財政もある、東電・国の「安全・安心」宣伝に立ち向かい政策の転換を求めるには、運動を大きくすることが不可欠と捉え直しました。

そこで、「実行委員会形式」で「ALPS 処理汚染水海洋放出」問題を考えるサマー・キャンプin請戸川河口テントひろば>として行う準備を始めました。

当日の参加は、もとより、準備段階から、実行委員/実行団体になり、ご協力いただくことをお願いする次第です。

◎請戸テントひろば: 杉山◎

東電株主代表訴訟 控訴審判決に対する

弁護団声明

2025年6月6日 東電株主代表訴訟弁護団

本日、東京高等裁判所第5民事部の木納敏和裁判長、伊藤正晴裁判官、森剛裁判官は、東京地裁判決(朝倉佳秀裁判長)を取り消し、福島第一原発事故の東京電力旧経営陣の責任を否定する判決を下しました。

この判決は、原発事故がもたらす地域社会ひいては国の崩壊をも招きかねない未曾有の被害実態を認定し、原発事業を営む東京電力という公益企業の経営者には、原発の安全性を確保するための重い経営上の責務が課されていることを認めたと関わらず、実質的にはこれを否定したものです。

また、この判決は、東電の経営者において、原発事故を引き起こすような津波が襲来する危険性について切迫感等を抱くことまで要求しています。しかし、津波地震について切迫感等を有する予見可能性は、現在の地震学では殆どありえない認識を前提としており、到底容認し得ないものです。

福島第一原発事故について、国の国家賠償責任が最高裁の2022年6月17日判決によって否定されました。この判決には、三浦守裁判官による、理路整然とし、説得力のある反対意見が付されていたにもかかわらず、その後の原発事故に伴う損害賠償請求事件において、最高裁の判断に無批判に追随する下級審判決が繰り返されてきました。

私たちは、多くの命を奪い、数え切れないほどの人々の人生を破壊したにもかかわらず、原子力政策を積極的に推進してきた国を免責するということが、次の重大な原発事故の発生を準備するものであると批判してきました。

この判決は、原発事故後、東京電力の経営の責任は加重されていると認定していますが、原発事故前であっても、事故後であっても、原発の運転に高度の安全性が求められていたのは変わらないはずであり、本件判決は明らかに誤っています。

本判決は、原発が事故を起こせば甚大な被害と犠牲が発生し、取り返しがつかないこと、その責任は、運転を決定し、必要な事故対策を怠った原子力事業者の経営陣が負うべきであるという当然の事理を認めず、具体的な危険が切迫していない限り安全対策をしないという甘い経営判断を広く許容するものです。そのような姿勢で、福島第一原発事故のような事故が二度と起こらないようにできるわけがありません。私たちは、この判決も次の重大事故を準備するものとして強く抗議し、最高裁に上告する方針です。

原発情報

◎ 台湾「原発ゼロ」実現へ

唯一稼働の原発がきょう停止、将来見直しも

2025年5月17日8時00分 朝日新聞デジタルより

台湾で唯一稼働している第3原発2号機(屏東県)が17日に稼働期限を迎えて停止し、台湾の民進党政権が実現を目指してきた「原発ゼロ」が実現する。ただ、頼清徳(ライチントー)政権は将来的な原発の再活用を否定しておらず、脱原発政策を見直す可能性は残っている。台湾電力によると、第3原発2号機は17日午後に出力を下げはじめ、18日午前0時までには完全に停止する。台湾の立法院(国会に相当)

は13日、原発の稼働期限を最長20年間延期できる法改正案を、電力の不足や価格上昇への懸念を理由に稼働停止に反対する野党が主導して可決した。

◎「原発ゼロ」の台湾、再稼働の是非めぐって住民投票へ
台湾立法院が可決

2025年5月21日14時47分 朝日新聞デジタルより

台湾立法院(国会)は20日、原発再稼働の是非を問う住民投票案を可決した。台湾は17日に最後の原発が稼働を停止。台湾の民進党政権が目指してきた「原発ゼロ」を実現したばかりだったが、住民投票の結果次第で見直しにつながる可能性もある。

集会・行動予定

- ◆ 6月11日(水) 12時~13時
原子力規制委員会前抗議行動(毎週水曜)
- ◆ 同日(水) 13:20~16:40
「原発・核燃料サイクルの中止を求めて」院内集会
会場:衆議院第1議員会館大会議室
主催:脱原発政策実現ネットワーク
- ◆ 6月13日(金) 17時~18時
経産省前抗議集会(毎週金曜)
主催:経産省前テントひろば 場所:経産省正門前
◎ 経産省前の座り込み行動は、平日:12時~16時(月~木)、13~17時(金)、土・日・休日:12時~15時◎
- ◆ 6月15日(日) 13時半~16時
シンポジウム:人権と司法
~揺らぐ「最後の砦」を前にして
会場:明治大学アカデミーコモン(終了後デモ16:45~)
- ◆ 同日(日) 午後3時~
原さん・富久さんを偲ぶ会
会場:経産省前テントひろば・事務所
主催:九条改憲阻止の会
- ◆ 6月16日(月) 11時~13時半
最高裁包囲行動(ヒューマンチェーン)
- ◆ 同日(月) 13:45~17:30
東海第二原発を廃炉に!院内ヒアリング集会
会場:衆議院第2議員会館第6会議室
主催:とめよう!東海第二原発首都圏連絡会
- ◆ 6月29日(日) 12時~15時
脱原発・青空川柳句会
主催:経産省前テントひろば・乱鬼龍

≪経産省前テントひろば≫
住所:〒105-0003 港区西新橋1-21-8 新虎ビル2F
・電話:070-6473-1947
・郵便振替口座=00160-3-267170
・口座名義=経済産業省前テントひろば
WEB: <http://tentohiroba.tumblr.com/>
Mail address: tentohiroba@gmail.com